

平和とは

基督教独立学園クリスマス記念講演

鈴木寛 (Hiroshi Suzuki)

国際基督教大学 (International Christian University)

2025年12月22日

Table of Contents

① はじめに

② 共に生きる歩み

③ 聖書の理解

④ まとめ

讃美歌 98 番

- ① 「あめにはさかえみ神にあれや、つちにはやすき人にあれや」と、
みつかいたちのたたうる歌を ききてもらびと共によろこび、
今ぞうまれし君をたたえよ。
- ② さだめたましし救いのときに、かみのみくらをはなれて降り、
いやしき賤の処女にやどり、世びとのなかに住むべき為に、
いまぞ生まれし君をたたえよ。
- ③ あさ日のごとくかがやき昇り、みひかりをもて暗きを照らし、
つちよりいでし人を活かしめ、つきぬいのちを与るために、
いまぞ生まれし君をたたえよ。

讃美歌 228 番

- ① ガリラヤの風かおるあたり、「あまつ御国は近づけり」と、
のたまいてよりいく千歳ぞ、きたらせたまえ、主よみ国を
- ② たたかいの日に、いこいの夜に、みくにをしたうあつきいのり、
ささげられしはいく千度ぞ、きたらせたまえ、主よ、み国を
- ③ 憎み、あらそい、あとを絶ちて、愛と平和は四方にあふれ、
みむねの成るはいずれの日ぞ、きたらせたまえ、主よ、み国を

マルコ 4:35-4:41 (新共同訳)

4:35 その日の夕方になって、イエスは、「向こう岸に渡ろう」と弟子たちに言わされた。36 そこで、弟子たちは群衆を後に残し、イエスを舟に乗せたまま漕ぎ出した。ほかの舟も一緒であった。37 激しい突風が起り、舟は波をかぶって、水浸しになるほどであった。38 しかし、イエスは艤の方で枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして、「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか」と言った。39 イエスは起き上がって、風を叱り、湖に、「黙れ。静まれ」と言われた。すると、風はやみ、すっかり凪になった。40 イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか。」41 弟子たちは非常に恐れて、「いったい、この方はどなたなのだろう。風や湖さえも従うではないか」と互いに言った。

マルコ 5:1-5:21 (Part 1) (新共同訳)

5:1 一行は、湖の向こう岸にあるゲラサ人の地方に着いた。2 イエスが舟から上がられるとすぐに、汚れた靈に取りつかれた人が墓場からやって来た。3 この人は墓場を住まいとしており、もはやだれも、鎖を用いてさえつなぎとめておくことはできなかった。4 これまでにも度々足枷や鎖で縛られたが、鎖は引きちぎり足枷は碎いてしまい、だれも彼を縛っておくことはできなかつたのである。5 彼は昼も夜も墓場や山で叫んだり、石で自分を打ちたたりしていた。6 イエスを遠くから見ると、走り寄ってひれ伏し、7 大声で叫んだ。「いと高き神の子イエス、かまわないでくれ。後生だから、苦しめないでほしい。」8 イエスが、「汚れた靈、この人から出て行け」と言わされたからである。9 そこで、イエスが、「名は何というのか」とお尋ねになると、「名はレギオン。大勢だから」と言った。10 そして、自分たちをこの地方から追い出さないようにと、イエスにしきりに願った。11 ところで、その辺りの山で豚の大群がえさをあさっていた。12 汚れた靈どもはイエスに、「豚の中に送り込み、乗り移らせててくれ」と願った。

マルコ 5:1-5:21 (Part 2) (新共同訳)

14 豚飼いたちは逃げ出し、町や村にこのことを知らせた。人々は何が起こったのかと見に来た。15 彼らはイエスのところに来ると、レギオンに取りつかれていた人が服を着、正気になって座っているのを見て、恐ろしくなった。16 成り行きを見ていた人たちは、悪霊に取りつかれた人の身に起こったことと豚のことを人々に語った。17 そこで、人々はイエスにその地方から出て行ってもらいたいと言いました。18 イエスが舟に乗られると、悪霊に取りつかれていた人が、一緒に行きたいと願った。19 イエスはそれを許さないで、こう言われた。「自分の家に帰りなさい。そして身内の人々に、主があなたを憐れみ、あなたにしてくださったことをことごとく知らせなさい。」20 その人は立ち去り、イエスが自分にしてくださったことをことごとくデカポリス地方に言い広め始めた。人々は皆驚いた。21 イエスが舟に乗って再び向こう岸に渡られると、大勢の群衆がそばに集まって來た。イエスは湖のほとりにおられた。

プロフィール

鈴木寛（国際基督教大学名誉教授）

- 大学では、数学やデータサイエンスを教え、
- 困難を抱えた学生の支援や、
- サービス・ラーニングなどの責任をもち、
- 聖書の会を学内住宅で毎週開いていました。
- 2019年3月に65歳で定年退職、
- 児童養護施設 のぞみの家、
- 障害者就労支援施設 日本キリスト教奉仕団、
- 新潟の、敬和学園で、理事をしています。

クリスマスの思い出

教会学校のクリスマスの劇で

「いと高きところでは、神に栄光があるように、／地の上では、み心にかなう人々に平和があるように」。
ルカ 2:14（口語訳）^a

^a新共同訳 「いと高きところには栄光、神にあれ、／地には平和、御心に適う人にあれ。」

神に栄光、地に平和

平和とは、どのようなものでしょうか。
戦争がないときは、平和でしょうか。

高校生のころ

学園紛争・キリスト教会へ

高校一年の秋^a、学園紛争

一部の生徒が他校の生徒と一緒に校長室付近をバリケード封鎖

以後、毎日、政治的な問題など議論

警察機動隊も入り、数ヶ月間、授業もなかった。

^a1969年10月13日（月曜日）

問い合わせ

- A. 理不尽だと思われることを訴えるために法を犯す決断をする条件は？
- B. わたしがイスラム教の家庭や共産党員の家庭に生まれていたら？

高校生時代（続き）

教会に熱心に通う

- 大学生が多く、その人たちの話を聞き、一緒に行動し、ちょっと背伸びをしているような感じがあり、急に世界が広がる。
- その教会の牧師は、戦争のころ、宣教師として東南アジアに行っており、戦後すぐ「つぐないのわざ」として、東南アジア学生寮を作り、アジアの戦争孤児や、日本軍の兵隊と、現地の女性との間に生まれたこどもを、日本に留学や職業研修のために招いていた。

加藤亮一牧師の言葉

「日本の若者が、混迷の中でエネルギーを使い果たすのではなく、次の時代のために東南アジアをじかに見、アジアの人々と直接交流する機会を持ってほしい。」

横浜本牧埠頭で



東南アジア 53 日間貨物船の旅



アジアの人たちと共に生きる

出会った人々

- ある程度年配の方の多くは、日本人が嫌いで、憎しみを持っている
- 日本の経済的な発展を、妬ましく思っている
- 皆、非常に貧しい生活をしている
- さまざまな方法でお金を稼ごうとしている子供達
- 性的なサービスをしないと生きていけない若い女性たち

戦争責任を感じつつ

- 同じ時を、ともに生きるものとして、責任をもって生きていくことが、たいせつなのではないか
- 違った世界で生きていても、この人たちのことを覚え、この人たちに恥ずかしくない生き方をして、生きていこう

その後の共に生きる歩み

留学・就職

- 大学院の途中からアメリカに約三年間留学
- 帰国後、地方国立大学に13年間

国際基督教大学

- 数学の研究・教育
- アジアの大学^aの数学研究の支援
- 学生学修支援、障害者の支援
- タイの山地族の村でのワークキャンプ
- サービス・ラーニングというプログラム
国内および、中国、韓国、フィリピン、インドネシア、タイ、インド、ケニアなどに学生を派遣
- ディスカッション・スタイルの聖書の会
- 児童福祉施設

^a中心は、フィリピンと中国

マルコ 4:35-41 突風を鎮める

4:35 その日の夕方になって、イエスは、「向こう岸に渡ろう」と弟子たちに言われた。36 そこで、弟子たちは群衆を後に残し、イエスを舟に乗せたまま漕ぎ出した。ほかの舟も一緒であった。37 激しい突風が起り、舟は波をかぶって、水浸しになるほどであった。38 しかし、イエスは艤の方で枕をして眠っておられた。弟子たちはイエスを起こして、「先生、わたしたちがおぼれてもかまわないのですか」と言った。39 イエスは起き上がって、風を叱り、湖に、「黙れ。静まれ」と言われた。すると、風はやみ、すっかり凪になった。40 イエスは言われた。「なぜ怖がるのか。まだ信じないのか。」41 弟子たちは非常に恐れて、「いったい、この方はどなたなのだろう。風や湖さえも従うではないか」と互いに言った。

- ① どのような時に起こったことでしょうか。
- ② どのような人がその場にいるでしょうか。
- ③ 舟については、どのようなことがわかりますか。
- ④ 巖の状況はどのように描かれていますか。
- ⑤ 弟子たちはどのように反応していますか。
- ⑥ イエスについてはどのように描かれていますか。
- ⑦ 結果については、どのように書かれていますか。

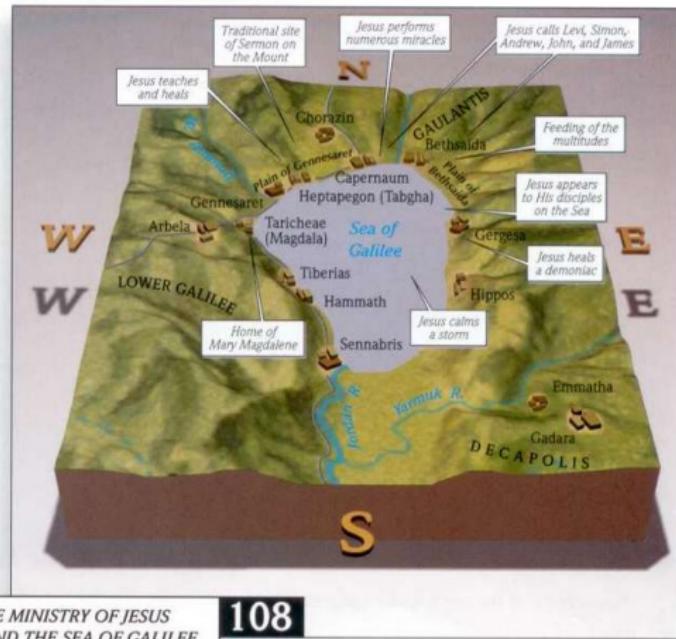
Capernaum - Gergesa



108

MATT. 5:7; 9:1-9
MARK 1:21-34; 2:1-14; 4:1-41; 5:1-20; 6:45-52
LUKE 7:1-10; 9:12-17
JOHN 6:1-25

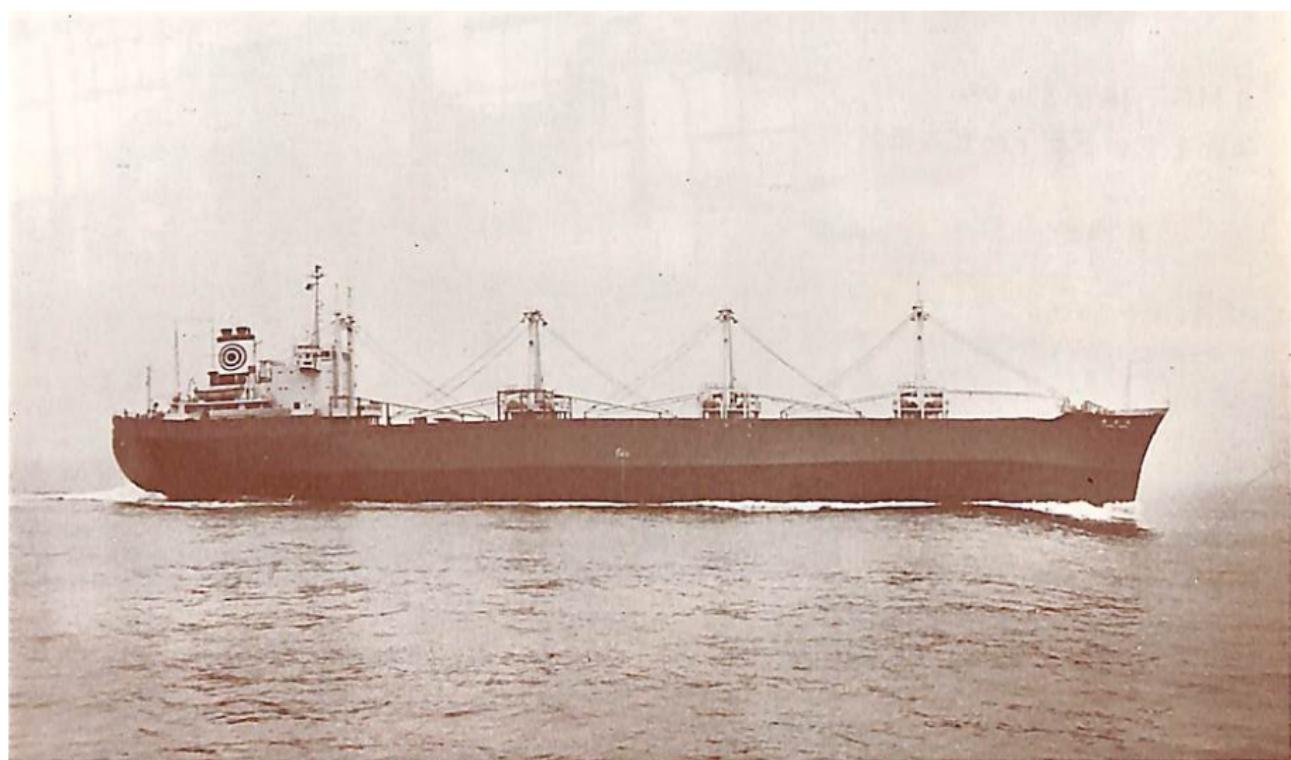
City
 Road



MATT. 5-7; 9:1-9
 MARK 1:21-34; 2:1-12; 4:1-41; 5:1-20; 6:45-52
 LUKE 7:1-10; 9:12-17
 JOHN 6:1-25



Capernaum - Gergesa <https://www.seektheoldpaths.com/Maps/108.jpg>



旭光丸 (貨物船)

マルコ 4:35-41 突風を鎮める

平和とは (1)

- 嵐の中では、弟子たちは、平和ではない状態 ⇒ 突然、平和な状態が訪れた?
- 何によって変わったのか? イエスの一声?
- イエスは、元々、怖がらなくて良かった、信仰を持っていれば OK?
- もしかすると、最初から、この舟は、平和の中にいた?

どう思われますか?

イエスがおられるということは「神が我々と共におられること」?

1:22 このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。23 「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。 (マタイ 1:22,23 新共同訳)

イエスと一緒にいれば安全だよということ?

マルコ 5:1-8 悪霊に取り憑かれた人を癒やす (1)

5:1 一行は、湖の向こう岸にあるゲラサ人の地方に着いた。2 イエスが舟から上がられるとすぐに、汚れた靈に取りつかれた人が墓場からやって來た。3 この人は墓場を住まいとしており、もはやだれも、鎖を用いてさえつなぎとめておくことはできなかった。4 これまでにも度々足枷や鎖で縛られたが、鎖は引きちぎり足枷は碎いてしまい、だれも彼を縛っておくことはできなかつたのである。5 彼は昼も夜も墓場や山で叫んだり、石で自分を打ちたたりしていた。6 イエスを遠くから見ると、走り寄ってひれ伏し、7 大声で叫んだ。「いと高き神の子イエス、かまわないでくれ。後生だから、苦しめないでほしい。」8 イエスが、「汚れた靈、この人から出て行け」と言わされたからである。9 そこで、イエスが、「名は何というのか」とお尋ねになると、「名はレギオン。大勢だから」と言った。10 そして、自分たちをこの地方から追い出さないようにと、イエスにしきりに願った。11 ところで、その辺りの山で豚の大群がえさをあさっていた。12 汚れた靈どもはイエスに、「豚の中に送り込み、乗り移らせててくれ」と願った。

- ① どのような時、背景において起こったことでしょうか。
- ② どのような人がその場にいるでしょうか。
- ③ 悪霊に取り憑かれた人についてどのように表現されていますか。
- ④ イエスとこのひととのことはどのように書かれていますか。

マルコ 5:9-21 悪霊に取り憑かれた人を癒やす (2)

13 イエスがお許しになったので、汚れた霊どもは出て、豚の中に入った。すると、二千匹ほどの豚の群れが崖を下って湖になだれ込み、湖の中で次々とおぼれ死んだ。14 豚飼いたちは逃げ出し、町や村にこのことを知らせた。人々は何が起こったのかと見に来た。15 彼らはイエスのところに来ると、レギオンに取りつかれていた人が服を着、正気になって座っているのを見て、恐ろしくなった。16 成り行きを見ていた人たちは、悪霊に取りつかれた人の身に起こったことと豚のことを人々に語った。17 そこで、人々はイエスにその地方から出て行ってもらいたいと言いました。18 イエスが舟に乗られると、悪霊に取りつかれていた人が、一緒に行きたいと願った。19 イエスはそれを許さないで、こう言われた。「自分の家に帰りなさい。そして身内の人に、主があなたを憐れみ、あなたにしてくださったことをことごとく知らせなさい。」20 その人は立ち去り、イエスが自分にしてくださったことをことごとくデカポリス地方に言い広め始めた。人々は皆驚いた。21 イエスが舟に乗って再び向こう岸に渡されると、大勢の群衆がそばに集まって來た。イエスは湖のほとりにおられた。

- ⑤ どうなりますか。
- ⑥ 豚飼いや町や村の人々はどうしますか。
- ⑦ 悪霊に取り憑かれた人についてはどのようなことが書かれていますか。

マルコ 5:1-21 悪霊に取り憑かれた人を癒やす

平和とは (2)

- 町の人、村の人は、平和（？）な状態 ⇒ 怖い。平和ではない（？）
- 豚飼いの人たちは？
- 汚れた霊につかれたひとは、平和ではない状態 ⇒ 平和な状態に。
 - 服を着、正気になって座っている
 - イエスが舟に乗られると、悪霊に取りつかれていた人が、一緒に行きたいと願った。(18)
 - イエス：『自分の家に帰りなさい。そして身内の人々に、主があなたを憐れみ、あなたにしてくださったことをことごとく知らせなさい。』
 - その人は立ち去り、イエスが自分にしてくださったことをことごとくデカボリス地方に言い広め始めた。

どう思われますか？

イエスの宣教の第一声

マルコ 1章 14節・15節

1:14 ヨハネが捕らえられた後、イエスはガリラヤへ行き、神の福音を宣べ伝え
て、15 「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」と言わ
れた。

第一の掟

マルコ 12章 28節-31節

12:28 彼らの議論を聞いていた一人の律法学者が進み出、イエスが立派にお答え
になったのを見て、尋ねた。「あらゆる掟のうちで、どれが第一でしょうか。」29
イエスはお答えになった。「第一の掟は、これである。『イスラエルよ、聞け、わ
たしたちの神である主は、唯一の主である。30 心を尽くし、精神を尽くし、思
いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』31 第二の掟
は、これである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はほか
にない。」

新しい掟

マルコ 13章 34節-35節

13:34 あなたがたに新しい掟を与える。互いに愛し合いなさい。わたしがあなた
がたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。35 互いに愛し合う
ならば、それによってあなたがたがわたしの弟子であることを、皆が知るように
なる。」

イエスの宣教の第一声

マルコ 1章 14節・15節

「時は満ち、神の国は近づいた。悔い改めて福音を信じなさい」
 神様の御心がなる世界がすぐそこにあるよ!

第一の掟

マルコ 12章 28節-31節

第一の掟は『あなたの神である主を愛しなさい。』第二の掟は『隣人を自分のように愛しなさい。』

たいせつな方をたいせつにすることは、たいせつな方のたいせつなひとをたいせつにすること。

新しい掟

マルコ 13章 34節-35節

互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。

愛されているものとして、お互いをたいせつに、平和を求める?
 「互いに」は簡単ではないかも知れません。

最後に

平和とは

Gemini (AI) に聞いてみました

<https://gemini.google.com/share/268c656eef7d>

平和についての学びについて

- 問いをもって自ら考えること
- 分断をさけること?
- 御心を求め続けること!?
- たいせつな方のたいせつなひとをたいせつにすること!?
- 自分が愛されていることをうけとめ、互いに愛し合うこと!?

あなたはどう思われますか？

ご静聴ありがとうございます
Thank You for Listening!



Suzuki's HP



スライド [PDF]

Suzuki's HP URL:

<https://icu-hsuzuki.github.io/science/index-j.html>

スライド PDF URL:

https://icu-hsuzuki.github.io/science/gospel/dokuritsu_slides.pdf

コメントをいただければ幸いです。Email: hsuzuki@icu.ac.jp